

奈良県の道路を計画的な維持管理を行うことで、快適な道路空間を道路利用者に提供できるよう、令和6年度～令和10年度において実施します。

①舗装の耐久性向上

②区画線の維持修繕

③草刈りのメリハリ化



④道路維持管理のDX

- ・舗装補修履歴の蓄積
- ・ドライブレコーダーを用いた異常箇所の発見
- ・SNS(LINE)による通信サービスを用いた異常箇所の発見

5ヶ年実施計画(令和6年～令和10年)

総事業費:約80億円

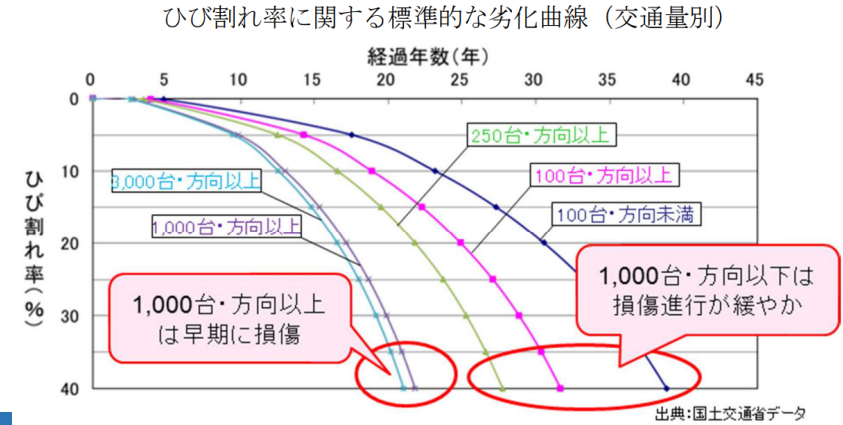
- ・路面損傷が著しい道路の計画的な舗装修繕により、耐久性を向上
- ・区画線の損傷が著しい道路の計画的な区画線補修により、視認性の向上
- ・従来の除草から、計画的な防草対策を実施することにより、不快感の軽減
- ・ドライブレコーダーやSNS(LINE)による通報サービスを用いることにより、異常箇所の早期発見



これらを実施することで、快適な道路空間を道路利用者に提供することを目指す

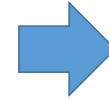
○道路特性による劣化速度について

国土交通省調べによると、大型車交通量1,000台・方向以上の路線（奈良生駒線等）は舗装が早期に損傷するとされている



従来

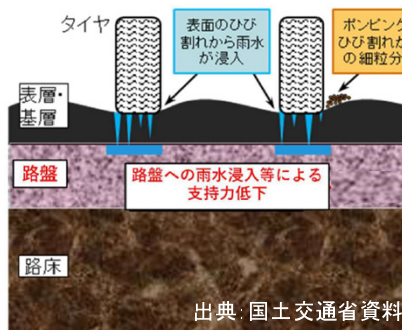
限られた予算内で多くの路面を修繕するために表層修繕を実施
(早期に損傷し、修繕が追い付かない状態)



今後

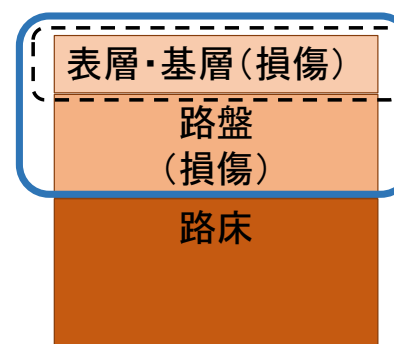
まずは、大型車交通量1,000台・方向以上の県管理道路については、**損傷度に応じた適切な舗裝修繕**を実施。
(耐久性向上により、快適な舗装が増えライフサイクルコストを低減)

○路盤が損傷するメカニズム



傷んだ路盤の放置は早期破損の原因

○舗裝修繕イメージ



従来：表層修繕

今後：損傷度に応じた適切な修繕

計画概要

期間: 令和6年度～令和10年度(5年間)
対象: 大型車交通量1,000台・方向以上の県管理道路(L=約110km)のうち
損傷度Ⅱ、Ⅲの道路L=約80km(損傷度Ⅱ:L=約50km,損傷度Ⅲ:L=約30km)
総事業費: 約60億円/(5年間) (令和5年度事業費: 約20億円)

主な対策内容

損傷度に応じて耐久性を高める舗裝修繕

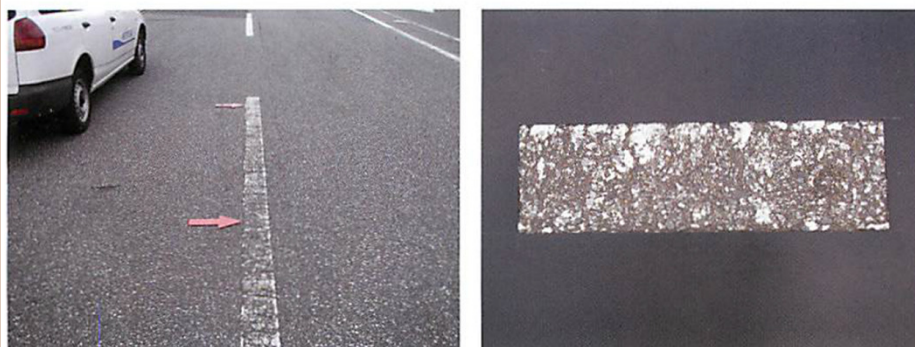
従来

職員による道路パトロールや住民からの通報により区画線の補修箇所を選定、補修を実施

今後

従来のパトロールや通報に加え、ドライブレコーダー画像を用いて損傷具合を確認し、補修を実施

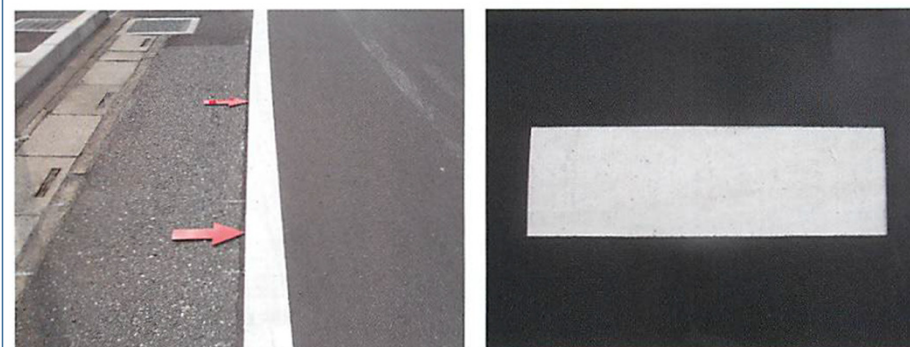
判定Ⅲ(要補修)



出典: 路面表示と交通安全(全国道路標識・標示業東京都協会)

摩耗、剥離が進行し視認が困難

判定Ⅰ(補修後)



出典: 路面表示と交通安全(全国道路標識・標示業東京都協会)

計画概要

期間 令和6年度～令和10年度(5年間)

対象 区画線の損傷調査結果から、下記の①、②で区画線の補修が必要となる延長L=約200kmについて補修を実施

①管理区分A(大型車交通量1,000台/日・方向以上)

②管理区分B(大型車交通量100台/日・方向以上～1,000台/日・方向未満)

総事業費 約3億円/(5年間) (令和5年度事業費:約1億円)

主な対策内容

○区画線の健全化

- ・舗装補修と併せて実施
- ・ドライブレコーダー画像を用いて損傷具合を確認し、補修を実施

ならの道 リフレッシュ プロジェクト(③草刈りのメリハリ化)

令和5年12月5日
道路マネジメント課

従来

主要道路での草刈りに毎年**多額の費用**が発生
しかし、**住民満足度が向上しない**

※雑草対策が特に必要な道路 (約140km/約1,030km)

草が伸びて邪魔。
早く草刈りして欲しい。

～対策前の道路状況～



河合大和高田線

©google map

奈良大和郡山斑鳩線

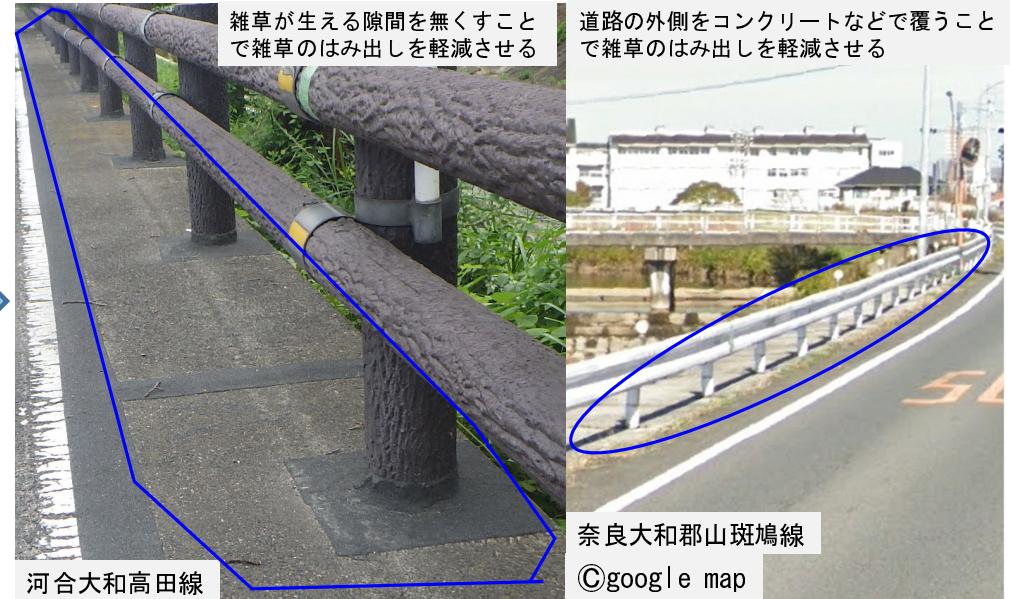
©google map

今後

主要道路で**雑草が生えない対策**を実施
観光地や危険箇所**で草刈り**などを実施

また草が伸びている。
再度、刈って欲しい。

～対策後の道路状況～



雑草が生える隙間を無くすこと
で雑草のはみ出しを軽減させる

道路の外側をコンクリートなどで覆うこと
で雑草のはみ出しを軽減させる

河合大和高田線

奈良大和郡山斑鳩線

©google map

計画概要

- 期 間 令和6年度～令和10年度（5年間）
- 対 象 ○大型交通量1,000台/日以上以上の道路:L=約110km
○現在年2回刈り（6月、9月）を実施中の道路:L=約40km
合計:L=約140kmを対象 ※重複区間あり
- 総事業費 約20億円／（5年間）
- そ の 他 ○駅や駐車場から徒歩周遊圏内の観光地までの道路:L=約40km
○道路狭隘区間における、雑草の繁茂による危険箇所 も着目

主な対策内容

- 道路の防草対策（雑草が生えない対策）
- ・縁石と舗装の隙間を埋める
 - ・道路の外側や中央分離帯を防草シートや張りコンクリートで覆う
- 道路の除草対策
- ・草刈り

従来

電話では通報の内容が伝わりにくい
道路パトロールには時間や労力を要し、日常的に行うことが困難



電話通報



パトロール(目視)

今後

利用者の通報しやすさを向上
(身近なツールの使用、写真+位置情報の送信)

道路状況確認の効率化
(パトロールに加え、ドライブレコーダーのデータを活用)



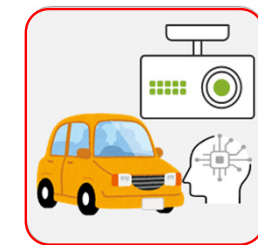
電話通報



パトロール
(ドライブレコーダー搭載)



SNSによる通報



一般車両のドライブレコーダーデータから抽出

計画概要

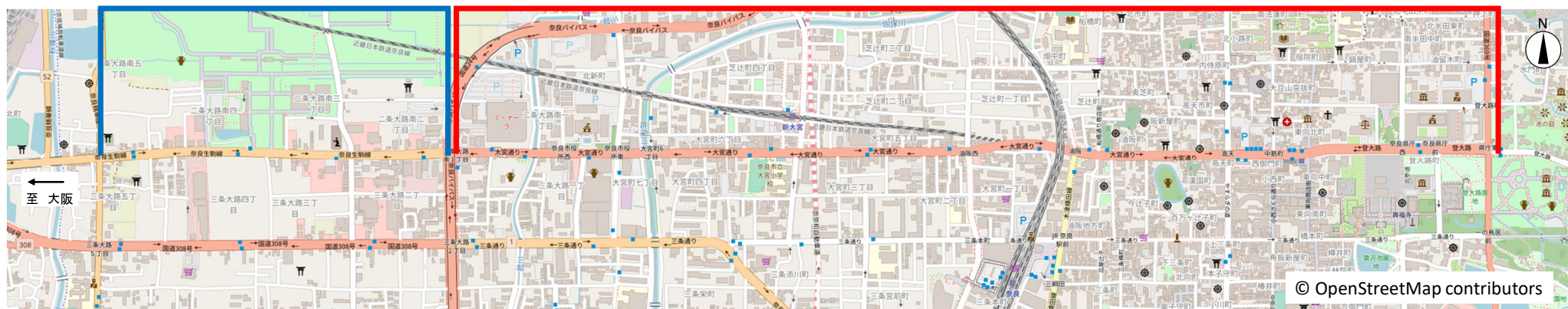
- 従来の電話通報に加え、SNS (LINE) による通報サービスを公開する
- ドライブレコーダー (一般車両+公用車) の映像をAIによる画像診断を行い、異常箇所を機械的に検出する

○大宮通りは、県外からの来訪者が奈良公園に行くまでのメインルートであり、沿道に市役所、学校、ホテル等の施設があり歩行者も多いため、短期間で歩道の舗装修繕や防草対策などを実施

計画区間： 県庁東交差点から二条大路南5丁目 L=4km

国道24号から
二条大路南5丁目 L=1km
(R11～R15年度で実施)

県庁東交差点から国道24号 L=3km
(R6～R10年度で実施)



舗装実施イメージ



防草実施イメージ



○ならの道 リフレッシュ プロジェクト 問い合わせ先

県土マネジメント部
道路マネジメント課 植谷、松本

内4152、4150

TEL:0742-27-7512(直通)